



ぷらさ da わかぼ センパイリスト



《日時》2016年5月22日（日）12：10～13：20

《会場》目白大学 10号館 5階 10502 教室・10507 教室（日本語教育学会春季大会会場）

《申し込み》当日 5月22日（日）の8時45分より会場受付にて

| | お名前・ご所属 (敬称略・50音順) | プロフィール |
|----|------------------------------|--|
| 1 | いしい えりこ 石井 恵理子 東京女子大学 | 日本語教育って何？という時代から、日本語学校、大学留学生センター、国立国語研究所等の職を経つつ、国内外の日本語教育・教師研修の課題について走りながら考えてきました。ことばを軸に人と社会を考えています。 |
| 2 | いわたか ずなり 岩田 一成 聖心女子大学 | 中国の専門学校、関西の日本語学校（入社して4年で閉校！）などで日本語を教えていました。日本語教師を振り向かせる文法研究がテーマです。地域日本語教室にも関わっています。嫌いなものは抽象論とオチのない話です。 |
| 3 | うきみ よう 宇佐美 洋 東京大学 | 言語形式の習得を支援することだけが言語教育でしょうか。だとすればそれは、20年後にはすっかり機械に取って代わられていることでしょう。生身の人間が言語教育に関わる意義について、日々考察を続けています。 |
| 4 | うしくぼ りゅうた 牛窪 隆太 関西学院大学 | 現職教師を対象に研究・調査を行いながら、自身も現場の教師として勉強会や研究会を企画してきました。質的データ分析法、実践研究の方法論に興味があり、新たな教師研究の可能性について検討しています。 |
| 5 | おげき ふみ 尾関 史 国際交流基金 | 外国につながる子どもたちの学習支援ボランティアをきっかけにこの世界に入り、その後、国内外のさまざまな学習者に日本語を教えてきました。現在は、海外で日本語を教える先生方の教員養成に携わっています。 |
| 6 | おのづか わかな 小野塚 若菜 東京学芸大学 | 言語テストを中心とした、評価・測定を研究のテーマにしています。また、日本国内の大学で留学生対象の日本語教育に携わっています。特にビジネス日本語の授業を長く担当してきました。 |
| 7 | かねこ しろろう 金子史朗 友国際文化学院 | 日本語教育に携わってこのかた日本語学校一筋でやってきました。授業、教材作りの他、教員養成、研修会運営、学校事務、学生募集などに関わり、学習者、教員の双方にとって良い環境を作ることに取り組んでいます。 |
| 8 | しま ちはる 嶋 ちはる 国際教養大学 | 第二言語話者が言葉を使いながら、どのようにコミュニティの中で社会化していくのかを研究しています。特に外国人看護・介護人材の職場における言語習得や医療場面におけるコミュニケーションを対象にしています。 |
| 9 | すなみ ほくと 角南 北斗 フリーランス | 日本語教育に詳しいWebデザイナーとして、IT教材の開発や活用アドバイスをしています。これまで手がけたプロジェクトについては、sunamihokuto.com をご覧ください。 |
| 10 | なかがわ ゆうじ 中川 祐治 福島大学 | 研究テーマは地域日本語教育です。福島をフィールドに、地域の日本語教室で活動するボランティアの方々と一緒に、日本語教育の視点から何ができるのかを模索中です。勤務校では日本語教員養成にも携わっています。 |

| | | |
|----|------------------------------|--|
| 11 | なかまた なおき 中俣 尚己 京都教育大学 | コーパスを使った計量的な研究に関心がありますが、自分がそこに関心があると自覚したのはここ2, 3年のことです。他人から見れば明白だったと思うのですが、なかなか自分のことはわからないものです。 |
| 12 | なじま よしなお 名嶋 義直 琉球大学 | 日本が嫌で海外に飛び出しマレーシアで日本語教育を体験。アジアを放浪して帰国。日本語学校・大学の教員を経て現職。談話分析を通して権力の意図や実践を可視化する研究がライフワーク。旅とバイク好きのヒッピー。 |
| 13 | のだ ひさし 野田 尚史 国立国語研究所 | 試行錯誤しながら、そのときどきで方向性を変えながら、日本語教育のための文法を研究してきました。ネットで「野田尚史」の「動画」を検索すると、若い研究者に向けたインタビュー (YouTube) が出てきます。 |
| 14 | のぼりざと たみこ 登里 民子 国際交流基金 | 国際交流基金の派遣で香港・マレーシア・インドネシアで日本語教育支援に携わってきました。今は東南アジアに派遣される「日本語パートナーズ」の派遣前研修や派遣中のサポート、現地調査などを担当しています。 |
| 15 | まつおか ようこ 松岡 洋子 岩手大学 | 移民の言語政策や多文化社会の公共人材能力開発の国際比較、多文化コミュニケーション教育などについて、日本語教育の視点を取り入れながらいろいろ研究、実践しています。 |
| 16 | もり あつし 森 篤嗣 帝塚山大学 | 日本語学をベースに、日本語教育と学校教育（特に国語科教育）の架け橋となることを目指して研究をしています。最近はコーパスや自然言語処理に興味を持って取り組んでいます。 |
| 17 | やぎ まなみ 八木 真奈美 駿河台大学 | 現在、所属大学で留学生の日本語科目を担当しています。研究分野は第二言語習得、地域日本語教育、質的研究です。 |
| 18 | やなぎだ なおみ 柳田 直美 一橋大学 | 国内外で大学生の日本語教育に携わってきましたが、研究対象は接触場面の会話における日本人の日本語。「日本人と外国人が日本語を使って共に生きるには？」がテーマです。 |
| 19 | やまだ いずみ 山田 泉 法政大学 | 専門は日本語教育と多文化教育です。どちらも地球市民としての意識と能力の養成を目指す「教育」としてのありようを考えてきました。また日本を移住外国人等と「共生」できる社会とする方法を模索してきました。 |
| 20 | やまもと さえり 山本 冴里 山口大学 | 初めは世界中で暮らせる何かを探すうちに、日本語教師の仕事と研究に出会いました。面白くて、だから続けたくて、日本とフランスで幾つかの機関を経て今に至ります。とくに興味のある概念は「境界」と「周縁」です。 |
| 21 | り じえほ 李 在鎬 早稲田大学 | 日本語テストに関する研究や大規模テキストデータを利用した量的研究をしています。留学生センターで日本語を教える仕事もやっていますが、メインは大学院で日本語教育学の研究指導をしています。 |

以上

